

平成30年度
事業報告

社会福祉法人 仁和会
府中はるみ福祉園

総 括

平成30年度は、定員36名、実員38名でのスタートとなりました。

本年度の退所者は市内就労支援事業所への移行が1名、他市のGH（グループホーム）及び通所利用への移行1名、合計2名となっており、新規利用者は、平成30年9月より府中市への転入者1名を受け入れました。

生産活動内容については、室内作業としてショッピングバッグ袋の受託作業、屋外作業としては市からの公園清掃等の受託作業を主体として日中活動を提供しました。

生産活動以外の活動としては、音楽、軽体操、ダンス、園芸、調理、にんな祭、一泊研修旅行、地域のお祭りなどの行事にも積極的に取り組みました。

この他に、肥満の防止と体力低下を防ぐために、定期的なウォーキング（運動プログラム）や軽体操のほか、始業時や就業時のラジオ体操やストレッチなどを実施しておりますが、このような活動は、運動不足の解消のほかに、気分転換ともなり、リフレッシュ効果をあげることもできました。

また東京オリンピック・パラリンピックに向け、「東京五輪音頭2020」の講師の方をお迎えして身体を動かしております。

利用者の平均年齢は40歳を超え、40歳代、50歳代の方が多い状況にあり、生活習慣病予防の必要な年齢になってきました。

施設では、20歳代の方も一定数利用していることから、各年代にきめ細かく対応するなど利用者、職員が協同して生産する喜びや心身の健康を促進できるよう、それぞれの特性に応じたきめの細かい支援を行い、充実した日中活動を提供できるように取り組んで参りました。

目 次

第1章	施設運営の実施状況	2
第2章	障害福祉サービス	3
第3章	健康管理	6
第4章	相談、苦情対応、虐待の防止	7
第5章	家族との連携	8
第6章	援護の実施者、協力機関との連携	8
第7章	職員体制	9
第8章	会議・研修等	10
第9章	災害対策・事故対応	11

※年齢、実績等のデータは、特記がない場合は平成31年3月31日現在で計上。

第 1 章 施設運営の実施状況

1. 利用実績

(1) 利用定員	36名
(2) 利用現員	37名
(3) 欠員数	0名
(4) 新規利用者数	1名
(5) 退所者数	2名
(6) 長期欠席者数	0名

※府中市 32名、小金井市 1名、八王子市 1名、国分寺市 1名
武蔵野市 1名、渋谷区 1名

2. 利用者の状況

(1) 年齢階層別

年齢層	男	女	計
18～19			
20～29	7	4	11
30～39	1	1	2
40～49	5	4	9
50～59	8	6	14
60～69		1	1
70以上			
計	21	16	37
平均年齢	40.7歳	43.8歳	42.1歳

(2) 障害支援区分

程度	男	女	計
区分 1			
区分 2			
区分 3	4	3	7
区分 4	8	9	17
区分 5	6	3	9
区分 6	3	1	4
計	21	16	37
平均	4.38	4.13	4.27

(3) 延べ利用日数

程 度	男	女	計
区 分 1			
区 分 2			
区 分 3	1, 198	732	1, 930
区 分 4	1, 720	2, 064	3, 784
区 分 5	1, 427	510	1, 937
区 分 6	501	192	693
計	4, 846	3, 498	8, 344
平均支援区分	4. 25	4. 05	4. 17

(4) 日常生活動作

内 容	支援・助言	一部介助	全部介助
食 事 支 援	6	1	
排 泄 支 援	3	4	
着 脱 衣 支 援		2	
歩 行 支 援	2	1	
車 椅 子 利 用 者	2	1	
お む っ 使 用 者	1		
寝 返 り 支 援			

第 2 章 障害福祉サービス

1. 個別支援計画

個別支援計画は、4月（前期）と10月（後期）に利用者、その家族のご要望を聞き取る面談を実施し、目標の達成度や課題を見直して適切な支援ができるようにまたニーズの実現に向けて作成しました。

また可能な限り、サポートにんなの相談支援専門員に同席してもらい、サービス等利用計画の総合的な援助の方針との齟齬がないように努めました。

2. 日中活動支援

受託作業を主体にしながら、利用者の仕事が途切れないようにプログラムして活動を提供しました。年間を通じた府中はるみ福祉園の稼働率は91.1%でした。

受託作業では、ショッピングバッグの製作・市役所の委託作業で野球場外周の除草作業、寿中央公園、押立町公園の清掃を行いました。

自主製品作りでは、これまでのビーズアクセサリー、ミサンガの他に、端切れを活用したシュシュなどの手芸品や既製品に付加価値をつけたマグネットホルダーなどの新しい小物雑貨類の作品作りに挑戦しました。

その他の活動は、下記のように実施しました。

- ダンス : 月に2回 (年24回)
- 軽体操 : 月に2回 (年24回)
- 音楽 : 4月～10月は2回 11月～3月は1回
にんな祭(9月)福祉祭り(10月)で演奏発表しました
- 運動プログラム(陸上競技場ウォーク) 毎週水曜午前1時間
- 散歩 : 試行中です
- 調理 : 4回 (6/20カレー 6/28シチュー 2/18,22クッキー)
- 園芸 : 随時 花卉および野菜の栽培(給食や調理活動の材料提供)
- 誕生会 : 毎月1回(主に土曜開園日)

3. 活動による収入と支出

・収入

	30年度	29年度
① 寿中央・押立町公園、野球場清掃 (公園72回、野球場5回、計77回)	1,908,220円	1,908,220円
② 自主製品販売	134,330円	110,988円
③ 受託(下請け)作業	914,233円	1,179,966円
④ イベント収入(団子販売)	191,755円	121,080円
計	3,168,553円	3,330,254円

・支出

	30年度	29年度
① 自主製品原材料	78,894円	87,396円
② 利用者工賃		
述べ支給額	3,053,210円	3,354,238円
延べ支給人数	431名	456名
平均月額工賃	7,084円	7,355円

～4,000円	～6,000円	6,000円～
5名	3名	31名

4. 日課

~09:15	登園(利用者受け入れ)
09:15~09:30	着替え・朝のミーティング・ラジオ体操
09:30~10:30	午前の作業
10:30~10:45	休憩
10:45~11:45	午前の作業
11:45~12:20	昼食
12:20~13:00	昼休み
13:00~14:00	午後の作業
14:00~14:15	休憩
14:15~15:30	午後の作業
15:30~16:00	清掃・着替え・帰りのミーティング
16:00~	降園

5. 年間行事は下記のように実施しました。

	行事	日程	担当職員
4月	桜まつり 農業高校との交流会 茶摘み	7(土)8(日) 23日(月)	小山 小山
5月	交通安全指導 軽スポーツ大会	14(月) 19(土)	小山・施設長 小山
6月	歯科検診 総合健診 調理実習①、②	1(金) 20(水) 20(水)28(木)	看護師 看護師 宇戸
7月	一泊研修旅 (山梨県 石和、昇仙峡) 寿町盆踊り (職員のみ参加 販売)	12(木)13(金) 28(土)29(日)	統括：小山 小山・施設長
8月	プール開放 商工まつり (職員のみ参加 販売) 夏季特別期間	7(火) 3(金) 13(月)14(火)	支援員 施設長 施設長
9月	にんな祭 (振替休日 10日) 総合防災訓練	8(土) 20(月)	施設長 小山
10月	福祉まつり	13(土)14(日)	小山・施設長
11月	グループ外出 ・昭和記念公園① ・カラオケ①	2(金)、 14(水)	小山 米井

	・昭和記念公園② ・カラオケ②	28(水) 12/14(金)	菊地 上岡
12月	クリスマス会	21(金)	施設長 給食職員
1月	新年抱負の会 waiwai フェスティバル	4(金) 18(金)19(土)20(日)	支援員 小山・施設長
2月	調理実習③、④	18(月)22(金)	大村・小原
3月	ボランティアさんに感謝！ 総合防災訓練	個別毎 29(金)	施設長 施設長

第 3 章 健康管理

健康管理は下記のとおり実施しました。

1. 利用者の健康管理

(1) 入所時の確認

当施設利用開始に当たり、過去にかかった病気、既往症及び過去に接種した予防注射の確認、緊急時の連絡先など詳細な把握を行いました。

(2) 服薬の確認

年度初めに、服薬の状況を保護者様に確認し、薬と疾病の関連を状況把握して緊急時に備えました。日々、服薬した利用者様は保健日誌に記録して保管しました。

(3) 保健行事

①定期健診

隔月（4月、8月、10月、12月、2月）に嘱託医による健康診断を実施しました。

②総合健診

年に1回（6月）提携医療機関にて実施しました。

③ 歯科検診

年に1回（6月）検診を受け、結果を保護者様に連絡し対応を促しました。

年1回歯科衛生士による歯垢検査を実施し、口腔衛生への関心を促しました。

(4) 日々の視診について

日々の利用者様の体調の把握を行い急変に備えると共に支援員等と情報を共有し対応しました。

(5) 衛生習慣の確認

手洗い確認と歯磨き確認を隔月で交互に行い意識向上を図りました。

(6) 血圧測定

毎水曜日に実施し、平常値を把握し、状況により嘱託医に相談し保護者様に報告対応しました。

第 4 章 相談、苦情対応、虐待の防止

1. グッドパーソン

9月と3月に「法人グッドパーソン規程」に基づきグッドパーソンの方に来園していただき、施設の進捗状況をお話し、食堂にてみんなと一緒に昼食を食べていただきました。昼食後に利用者または職員に日々の悩みなど聞き取りを実施しました。

2. 苦情対応

苦情については「法人苦情対応規程」に基づき下記のとおり体制整備を行いました。規程に基づく本年度の苦情はありませんでした。

役 割	氏 名	連 絡 先
くじょうかいけつせきにしや 苦情 解決 責任者	ほりい けいいち しせつちよう 堀井 恵一 (施設長)	0 4 2 - 3 3 3 - 7 5 5 5
くじょううけつけたんとうしや 苦情 受付 担当者	こやま ひろし ふくしせつちよう 小山 浩 (副施設長) おぼら なつこ しえんいん 小原 夏子 (支援員)	0 4 2 - 3 3 3 - 7 5 5 5
だいさんしやい いん 第三者 委員 (グッドパーソン)	いで まさとし さま 井出 政俊 様 たなか まちこ さま 田中 真知子 様	0 4 2 - 3 6 4 - 0 6 3 7 0 4 2 - 3 6 0 - 1 2 9 4

3. 虐待の防止

平成30年11月に法人全職員に「障害者虐待防止セルフチェックリスト」を実施しました。

平成31年2月法人研修として、日本アンガーマネジメント協会 岸辺佐知子先生の講師により「アンガーマネジメント基礎研修」を法人職員、利用者家族へ実施しました。

第 5 章 家族との連携

1. 保護者会の実施状況

4回実施し、情報を共有しました。(6/27.8/29.12/12.3/13)

2. その他

利用者およびご家族が日々の生活を安心して過ごせるようにご家族と随時、連絡帳などを通じて情報を共有して連携を図りました。また随時、困りごとなどある場合は相談に応じました。

第 6 章 援護の実施者、協力機関等との連携

1. 援護の実施者との連携

利用者の入所、退所に伴う障害福祉サービスの手続きや障害者支援区分の認定調査等が適切に行えるよう連携し調整を実施しました。

2. グループホーム「せんげん」との連携

緊急時のバックアップ体制を整えているグループホーム「せんげん」との連携体制の確立や、日常的な情報交換を積極的に行いました。

3. サポートにんなどの連携

個別支援計画書作成およびモニタリング報告書の作成のための会議と面談のある時は、可能な限り、相談支援専門員に同席していただき、総合的な援助の方針との齟齬がないように連携しました。

4. ボランティア、実習生の受入れを積極的に行いました。

(1) ボランティア

- ・毎週月曜日から木曜日まで 3 名のボランティアさんに通年でお越し頂きました。
(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの登録者数で計上)

(2) 実習生

- ・東京都社会福祉協議会を通じて教員になられる方の介護体験実習で 1 名の方を受け入れました。
- ・中学生の職場体験実習 4 名を受入れました。
- ・三菱東京 UFJ 銀行の職員の新任研修で 4 名の方を受け入れました。

(3) 都立特別支援学校等の現場実習の受け入れ

- ・本年度は現場実習の受け入れはありませんでした。

4. 見学者の受け入れ状況

- ・都立武蔵台学園 や 都立府中けやきの森学園など支援学校の生徒の見学を受け入れました。

6/28 武蔵台学園高等部 1 年 生徒 18 名・教員 11 名

6/28 府中市福祉保健部障害者福祉課新規配属職員 4 名

8/20 府中けやきの森学園高等部 生徒 13 名・教員 10 名

※その他、個人的な見学者についても随時受け入れを行いました。

5. 地元町内会との連携

- ・寿町 納涼盆踊り大会参加 (7/28・29)
- ・寿町 町内会新年会参加 (1/26)

第 7 章 職員体制

1. 採用

・松下 民夫	(常勤・施設長)	4月 1日付
・上岡 博之	(常勤・生活支援員)	4月 1日付
・白井 恵子	(非常勤・看護師)	7月 1日付
・小松 博	(非常勤・ドライバー兼 生活支援員)	9月 1日付
・小原 夏子	(常勤・生活支援員)	10月 1日付
・長島 紗恵子	(常勤・生活支援員)	10月 1日付
・三宅 綾	(非常勤・生活支援員)	10月 1日付
・長島 豊	(非常勤・ドライバー)	11月 1日付
・大村 智裕	(常勤・生活支援員)	12月 1日付
・亀田 由紀夫	(非常勤・ドライバー)	1月 1日付
・藤田 純子	(常勤・看護師)	1月 1日付

2. 退職

・長島 豊	(非常勤・ドライバー)	11月20日付
・菊池 康久	(常勤・生活支援員)	12月31日付
・南 健	(非常勤・ドライバー)	12月31日付
・宇戸 知恵美	(非常勤・生活支援員)	2月28日付
・三宅 綾	(非常勤・生活支援員)	3月31日付
・白井 恵子	(非常勤・看護師)	3月31日付
・古山 一子	(非常勤・看護師)	3月31日付

※業務委託契約に切替

3. 異動

(1) 転出

・松下 民夫	(常勤・施設長)	5月31日付
--------	-----------	--------

府中さくらの杜 施設長へ

4. 兼務

・堀井 恵一	(常勤・施設長)	6月 1日付
--------	-----------	--------

(はるみ福祉園施設長、GHせんげん施設長兼務)

第 8 章 会議・研修等

1. 会 議

- | | |
|-----------|-------------------|
| (1) 職員会議 | 12回(毎月) |
| (2) 保護者会 | 年4回(6月、8月、12月、3月) |
| (3) 管理職会議 | 毎月第1、3、最終水曜日等 |
| (4) 主任会議 | 12回(毎月第3火曜日等) |

2. 研 修

(1) 法人内研修

法人内全体研修は、下記の5回が実施されました。

- | | |
|-------|---|
| 6/16 | 「基礎知識の共通理解と基本理念」
(講師 堀井恵一総務管理者) |
| 11/17 | ケースカンファレンス(各施設の事例検討) |
| 1/11 | 自主研修全11回
~3/28(講師 堀井恵一総務管理者) |
| 2/16 | 虐待防止研修「アンガーマネジメント研修」
(講師 日本アンガーマネジメント協会 岸辺知佐子先生) |
| 3/16 | 「喫煙及び運動について考える」
(講師 医王病院 院長 島田幸男先生 仁和会産業医) |

(2) 外部研修

- ・ 福祉職員階層別研修—初任者研修 2名
- ・ 強度行動障害支援基礎研修 2名
- ・ 強度行動障害支援者養成研修(基礎) 1名
- ・ 強度行動障害支援者養成研修(実践) 1名
- ・ てんかん基礎講座 1名
- ・ 都立武蔵台学園学校公開 1名
- ・ サービス管理責任者研修発達障害研修 1名
- ・ 相談支援従事者初任者研修 1名
- ・ 府中市作業所等連絡協議会主催研修 5名

(3) 文書研修

法人内委員会等の議事録、関係機関からの通達、冊子等の情報を回覧し、各自資質を向上させることに努めました。

(4) 実地研修

上記の机上の研修のほか、実地の場面での教育、研修(OJT=オンザジョブトレーニング)を実施しました。

第 9 章 災害対策・事故対応

利用者の生命、身体および財産を保護するため、下記のとおり対策、訓練及び対応を実施しました。

1. 防火設備等の点検
年 2 回 実施しました。
2. 避難訓練等
以下のとおり防災訓練を実施しました。

	区	分	内	容
4 月	自主防災訓練	4/6	2 F 厨房より出火想定	
5 月	自主防災訓練	5/21	地震想定	
6 月	自主防災訓練	6/29	2 F 厨房より出火想定	
7 月	自主防災訓練	7/23	地震想定	
8 月	自主防災訓練	8/31	2 F 厨房より出火想定	
9 月	総合防災訓練	9/20	地震から 2 F 厨房より出火想定 +水消火器訓練	
10 月	自主防災訓練	10/5	2 F 厨房より出火想定	
11 月	自主防災訓練	11/2	地震想定	
12 月	自主防災訓練	12/17	2 F 厨房より出火想定	
1 月	自主防災訓練	1/21	地震想定	
2 月	自主防災訓練	2/18	2 F 厨房より出火想定	
3 月	総合防災訓練	3/29	地震から 2 F 厨房より出火想定 +水消火器訓練	

3. 事故について
施設賠償保険適用事案はありません。
4. その他
今年度は第三者評価を実施いたしました。